平成１８年9月１５日

注　意　報

長崎県病害虫防除所長

平成１８年度病害虫発生予察注意報第１０号

いちご　炭疽病

１．発生地域（対象地域）　県下全域

２．発生程度　多

３．注意報発令の根拠

(1) ９月上旬の巡回調査（３３筆）の結果、*G.cingulata*による炭疽病の発病株率は２．３％（平年０．３％）、発生圃場率は３６．４％（平年８．４％）であった。*C.acutatum*による炭疽病（通称：葉枯炭疽病）の発病株率は０．８％（平年１．４％）、発生圃場率は１５．２％（平年８．５％）であった。

(2)向こう１か月の降水量は多い見込みであり、本病の発生が増加する恐れがある。

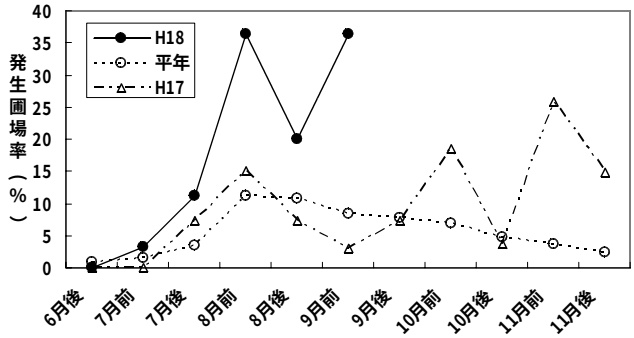

図　いちご炭疽病（*G.cingulata*）　発生圃場率の推移

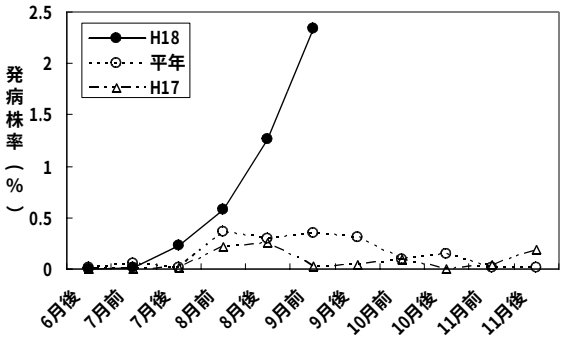

図　いちご炭疽病（*G.cingulata*）　発病株率の推移

４．防除対策

(1)発病株及び発病の恐れのある株は早期除去し、本圃へ持ち込まない。本圃で発病した場合は速やかに圃場外へ持ち出す。

(2)台風や降雨などにより発生の恐れがある時は薬剤散布を徹底する。

(3)薬剤散布にあたっては、使用基準を遵守し、圃場周辺への薬剤の飛散がないように十分注意する。